

<No1 : 法規>

次の a ～ d の文は、測量法(昭和24年法律第188号)に規定された事項について述べたものである。

～ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 「測量」とは、土地の測量をいい、 及び測量用写真の撮影を含むものとする。
- b. 「測量作業機関」とは、 の指示又は委託を受けて測量作業を実施する者をいう。
- c. 基本測量以外の測量を実施しようとする者は、 の承認を得て、基本測量の測量標を使用することができる。
- d. 測量士は、測量に関する を作製し、又は実施する。測量士補は、測量士の作製した に従い測量に従事する。

	ア	イ	ウ	エ
1.	地図の複製	元請負人	都道府県知事	作業規程
2.	地図の調製	測量計画機関	国土地理院の長	作業規程
3.	地図の調製	測量計画機関	国土地理院の長	計画
4.	地図の複製	測量計画機関	都道府県知事	計画
5.	地図の調製	元請負人	都道府県知事	計画

<No2 : 法規>

次の文は、公共測量における作業について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 平面位置は、平面直角座標系（平成 14 年国土交通省告示第 9 号）に規定する世界測地系に従う直角座標により表示した。
2. 永久標識を設置した際、成果表は作成したが、業務効率のため点の記は作成しなかった。
3. GNSS 衛星の配置情報を事前に確認し、衛星配置が片寄った時間帯での観測を避けた。
4. 空中写真の撮影を行うため、基準点から偏心距離及び偏心角を測定し、対空標識を設置した。
5. 現地調査の予察を、空中写真、参考資料等を用いて、調査事項、調査範囲、作業量等を把握するために行った。

<No3 : 法規>

次の文は、標高、橢円体高及びジオイド高の関係について述べたものである。[ア] ～ [エ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

[ア] とは、[イ] を陸地内部まで延長したと仮定したときにできる仮想的な面のことをいう。

図3に示すとおり、標高は [ア] を基準として測定される。

[ア] は、周囲の地形や地球内部構造の不均質等によって凹凸があるので、測量の基準面として、地球の形状に近似した回転橢円体を採用する。その回転橢円体は、地理学的経緯度の測定に関する国際的な決定に基づいたもので、これを準拠橢円体という。このとき、準拠橢円体から

[ア] までの高さを [ウ] といい、準拠橢円体から地表までの高さを [エ] という。GNSS 測量で求められる高さは、[エ] である。

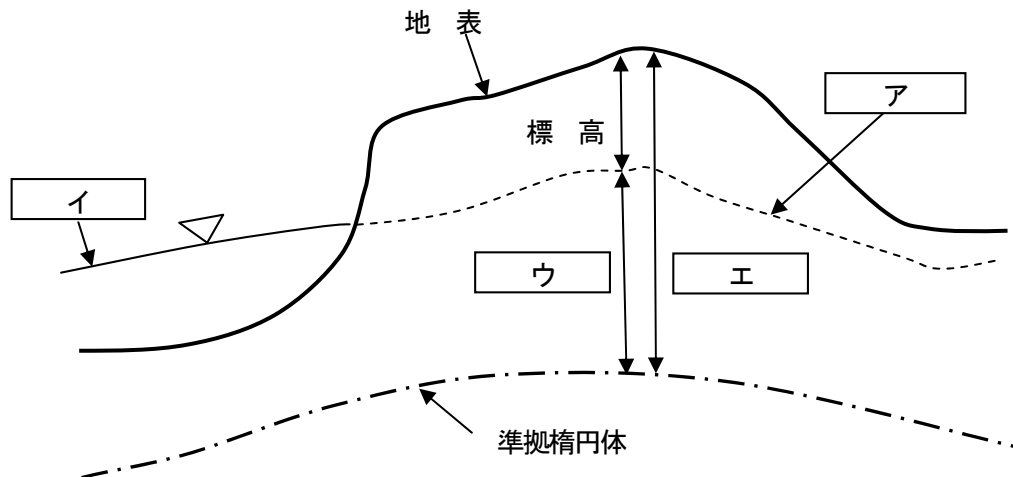


図 3

	ア	イ	ウ	エ
1.	ジオイド	平均海面	ジオイド高	橢円体高
2.	ジオイド	最低水面	ジオイド高	橢円体高
3.	等ポテンシャル面	平均海面	橢円体高	ジオイド高
4.	ジオイド	平均海面	橢円体高	ジオイド高
5.	等ポテンシャル面	最低水面	橢円体高	ジオイド高